

選出理由 作者が神奈川県出身で、小説の舞台が横浜のため

高等学校

吉野 万理子 作 秋の大三角（新潮社単行本）

みなとみらい線は、

そのまま東急東横線に乗り入れして、渋谷まで行く。

だからツタの学園でも、

利用者の多くが定期を切り替えた。

それまでは、

東横線の終点・桜木町駅でＪＲ根岸線に乗り換えて

石川町まで来るとというのが通常ルートだった。

横浜でも乗り換えはできるが、

桜木町はホームが隣接していて、

より便利なのだ。

だが、みなとみらい線が開通する前々日に、

横浜桜木町駅間は廃線になり、

電車は海沿いの新しいルートを走るようになったのだった。

里沙はまったく興味なかったが、

クラスの東横線利用者の間では毎日この話題で持ちきりだったので、

一通りの知識は持っていた。

「そうそう、開通した初日は、びっくりしたなあ。」

その日は横浜で降りただけだ。

今までずっと地上だったのに、

二つ手前の東白楽駅を出てから急に地下に入って。

横浜に着いたら、皆呆然と右往左往してたよ。

だって、ここがどこだかわかんないんだもん。

今まで東横線の横浜駅は、地上二階だったから。

いつの間にこんなホームができてたのって感じで「

話しながらも二人はエスカレーターで降下し続け、

ようやく地下四階に降り立った。